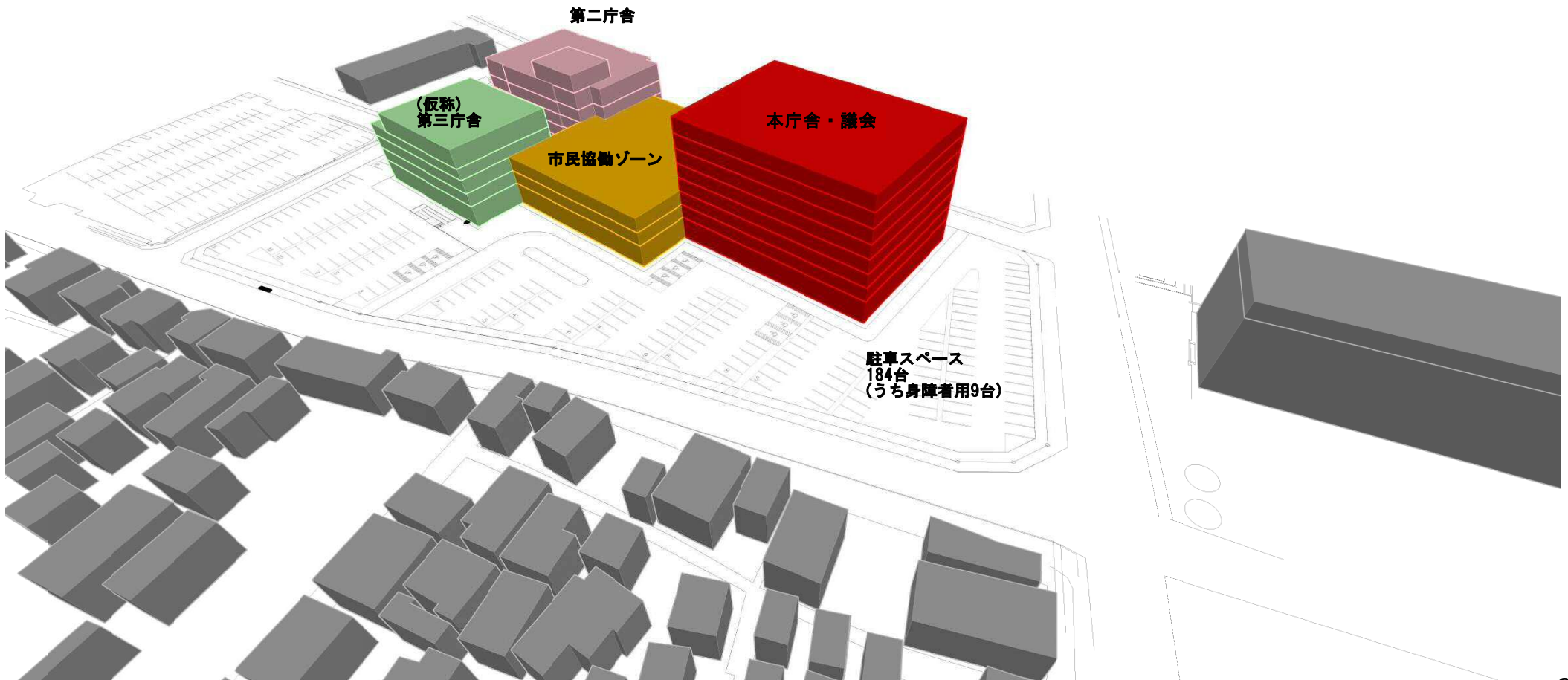
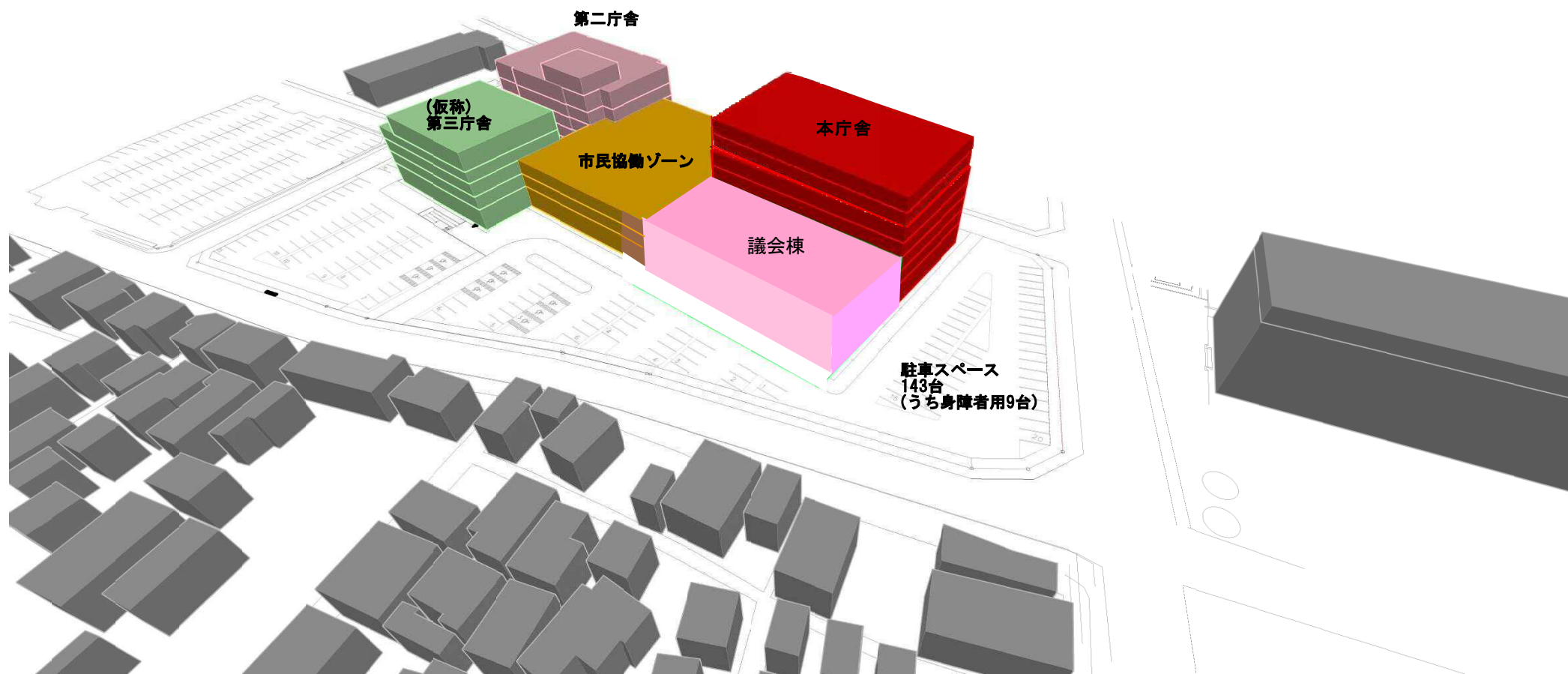










第二庁舎 (5階建)
延床面積 5301.17㎡
建築面積 1161.00㎡

広場

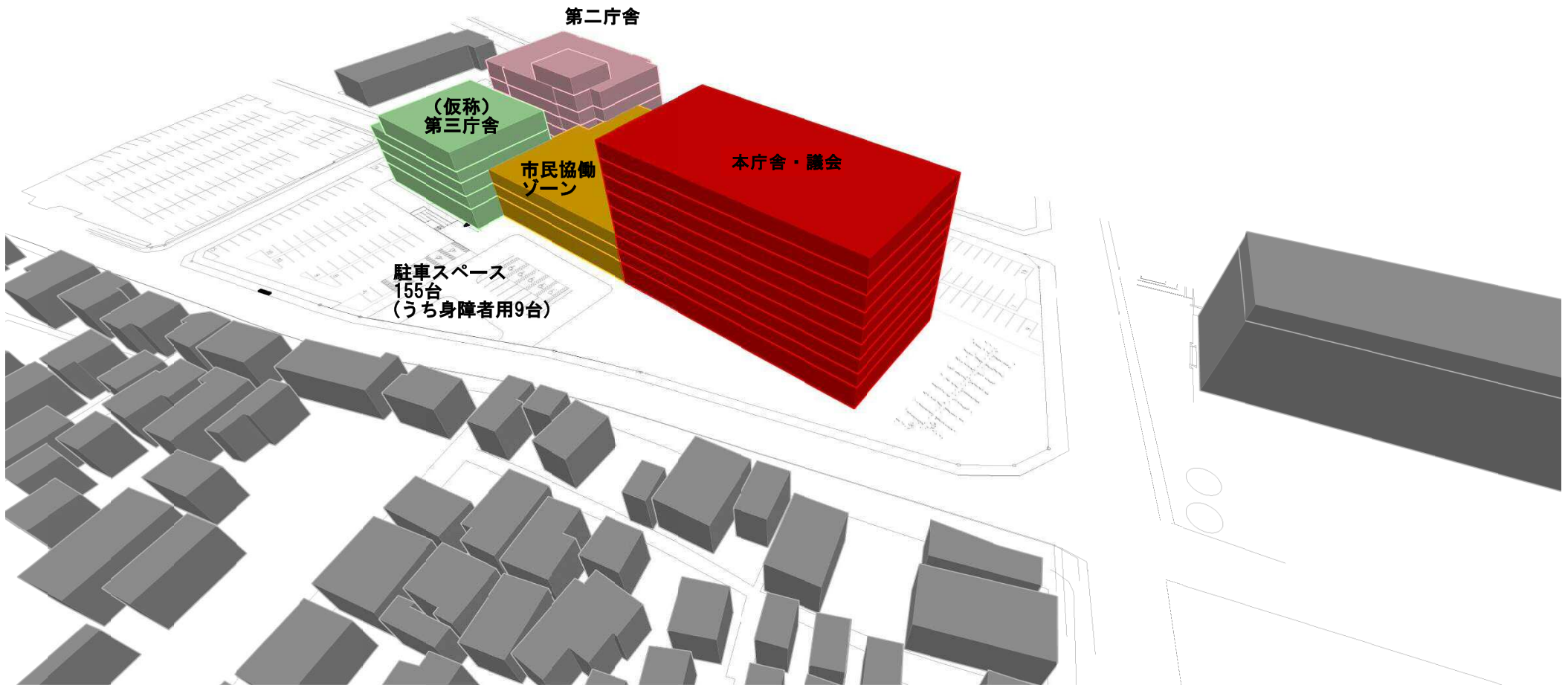
駐車スペース
155台
(うち身障者用9台)

市民協働ゾーン (3階建)
延床面積 4000.00㎡
建築面積 1750.00㎡

(仮称) 第三庁舎 (5階建)
延床面積 4770.71㎡
建築面積 1044.95㎡

本庁舎・議会 (8階建)

延床面積 14400.00㎡
建築面積 1800.00㎡

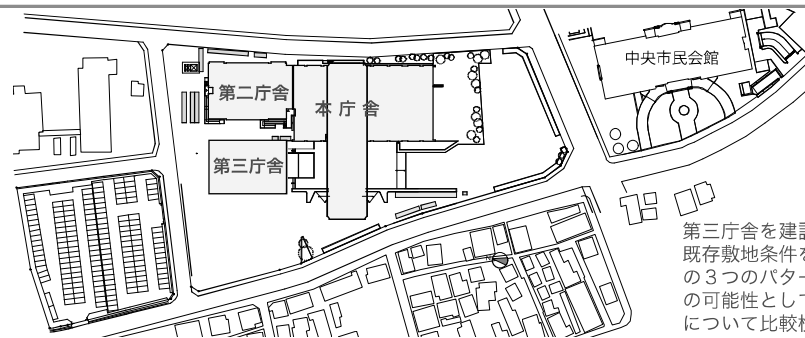


土地利用計画

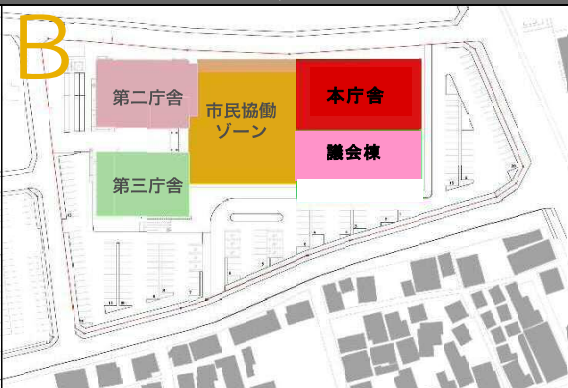
一本庁舎の配置計画

第三庁舎が建った後で計画することになる本庁舎の配置の検討をすることで、駐車場等の配置を含めた敷地全体の土地利用計画を検討していく。

- 既存本庁舎の機能を維持しながら、本庁舎の建替えを行なう。
- 本庁舎建設時は、既存本庁舎及びその他庁舎は移転・解体はしない。
- 本庁舎建設後、既存庁舎を解体し、三庁舎の中心的建物「市民協働ゾーン」をつくる。
- 隣地駐車場敷地を使用することを踏まえ、比較・検討した案を作成する。



第三庁舎を建設することを踏まえ既存敷地条件を考慮すると、下記の3つのパターンが本庁舎の建設の可能性として考えられる。各案について比較検討をおこなう。

評価軸		A案		B案		C案	
配置案							
新庁舎及び 既存庁舎 のあり方 (建築物 内部)	既存庁舎との 関係	意匠上、既存庁舎との調和の取れた外観が実現しやすい。	○	独立した議会棟は、建築形態上のアクセントが生じるものの、既存庁舎との調和には、意匠上工夫を要する。	○	矩形的既存庁舎との意匠上の調和には工夫を要する。 既存庁舎への動線が長い。	△
	議会棟の扱い	無柱大空間である議会を内部に配置するため、構造計画上工夫を要する。	△	議会棟の独立性を表現したシンボリックな意匠を実現しやすい。	○	細長平面になるため、無柱大空間である議会の配置に制約が生じ、 諸室との機能的な繋がりを確保しにくい。	△
	動線	コンパクトでまとまりがあるため、庁舎内での動線が相対的に短い。	○	議会棟への外部動線を単独で確保しやすく、議会関連とその他の動線を分離しやすい。	○	相対的に庁内での動線が長い。	×
	柔軟性(フレキシ ビリティ)	矩形平面になるため、庁内組織変更等によるレイアウト変更に対応しやすい。	○	矩形平面であるが、面積が狭いため、庁内組織変更等によるレイアウト変更に対応しにくい。	△	細長平面になるため、庁内組織変更等によるレイアウト変更に対応しにくい。	×
	眺望	眺望の確保によって、河川空間を庁舎内の空間デザインに活用しやすい。	○	眺望の確保によって、河川空間を庁舎内の空間デザインに活用しやすい。	○	河川空間への眺望の確保が比較的困難であり、河川空間を庁舎内の空間デザインに活用しにくい。	×
敷地内 における建 築物と外構	オープンスペ ースの確保・ 動線分離	議会を内部化することで、建築面積を少なくできるため、駐車場・広場等に活用できるオープンスペースが確保しやすい。	○	議会棟を独立させることで、建築面積が大きくなり、駐車場・広場等に活用できるオープンスペースが狭くなる。	△	駐車場面積が十分に取れない可能性がある。 独立した広場を設けることができるが、駐車場面積によっては、 広場の開放性が低くなる可能性がある。	△
周辺環境 との 関係性 (まちづくり)	回遊性・運動性	西側の広い外部空間からアクセスを集中させることで、西側とのまちづくりと連動しやすい。南側にまとまりのある広場を設置した場合、市民会館の広場とともに、活動拠点を形成しやすい。	○	西側の広い外部空間からアクセスを集中させることで、西側とのまちづくりと連動しやすい。南側にまとまりのある広場を設置した場合、市民会館の広場とともに、活動拠点を形成しやすい。	○	南側にまとまりのある広場を設置することが困難である。 西側の河川沿い空間の静寂さが確保しにくい。	△
	景観	西側の広い外部空間によって、駅前通りから新しい都計道への回り込みアイストップ効果が生まれる。	○	西側の広い外部空間によって、駅前通りから新しい都計道への回り込みアイストップ効果が生まれる。	○	建物の正面（ファサード）を西側のまちづくりに活かすことができない。	△
交通 動線・ 駐車場	入場の利便性	一体的配置によって、相互に駐車場の空き具合を視認で確認しやすい。右折入場の滞留を考慮する必要がある。	○	一体的配置によって、相互に駐車場の空き具合を視認で確認しやすい。右折入場の滞留を考慮する必要がある。	○	分散配置によって、相互に駐車場の空き具合を視認で確認しづらい。 一方通行道路からの入場となるため、迂回が生じる。	△
	スペースの効率性	一体的な利用ができるため、効率的である。	○	一体的な利用ができるため、効率的である。	○	一体的な利用ができないため、やや効率的である。	△
	イベント等への対応	柔軟な対応が可能である。	○	やや制約があるが、柔軟な対応が可能である。	△	駐車場が東西に分かれるため、制約が大きい。	×